



平成28年2月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

平成27年9月28日

上場会社名 株式会社ハイデイ日高 上場取引所 東
 コード番号 7611 URL <http://www.hiday.co.jp/ir/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 高橋 均
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員経営企画部長 (氏名) 島 需一 TEL 048-644-8030
 四半期報告書提出予定日 平成27年10月13日 配当支払開始予定日 平成27年11月4日
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：有（機関投資家・アナリスト向け）

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年2月期第2四半期の業績（平成27年3月1日～平成27年8月31日）

(1) 経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年2月期第2四半期	18,283	6.9	2,405	11.3	2,367	9.1	1,497	17.0
27年2月期第2四半期	17,108	8.0	2,162	5.4	2,170	6.2	1,280	4.8

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年2月期第2四半期	74.85	—
27年2月期第2四半期	63.95	—

(注) 平成27年3月1日付けで1株につき1.2株の割合で株式分割を行っております。前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たり四半期純利益を算定しております。

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
28年2月期第2四半期	23,763	18,035	75.9
27年2月期	23,174	16,854	72.7

(参考) 自己資本 28年2月期第2四半期 18,035百万円 27年2月期 16,854百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年2月期	—	18.00	—	18.00	36.00
28年2月期	—	18.00	—	—	—
28年2月期(予想)	—	—	—	18.00	36.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

第2四半期末配当は10月13日の取締役会で決議される予定です。

3. 平成28年2月期の業績予想（平成27年3月1日～平成28年2月29日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	36,900	7.2	4,300	6.1	4,300	7.0	2,550	11.2	127.39

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：有
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	28年2月期2Q	20,068,980株	27年2月期	20,068,980株
② 期末自己株式数	28年2月期2Q	59,545株	27年2月期	52,255株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	28年2月期2Q	20,010,752株	27年2月期2Q	20,019,680株

(注) 平成27年3月1日付けで1株につき1.2株の割合で株式分割を行っております。前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、期末発行済株式数及び期末自己株式数、期中平均株式数を算出しております。

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表に対するレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(決算補足説明資料及び決算説明会内容の入手方法)

当社は、平成27年10月7日（水）13時30分より機関投資家・アナリスト向け説明会を開催する予定です。説明資料等については、開催後速やかに当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
第2四半期累計期間	6
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
4. 補足情報	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

（1）経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間のわが国経済は、政府の景気対策や日銀の金融緩和政策、円安基調の継続などにより企業収益の改善がみられましたが、国内株式市場は8月に入ると海外市場の軟調の影響を受け、先行き不透明な状況が続きました。

外食産業においては、輸入原材料価格などの高騰や異業種との競争、労働力人口減少に加え景気回復傾向にともなう人件費関連コスト等の上昇もあり、厳しい状況でありました。

このような環境のもとで、当社は首都圏600店舗体制に向けて安定的な新規出店、サービス水準向上に向けた取り組みや季節メニューの投入などを行い、業容拡大を図ってまいりました。

店舗展開については、12店舗出店（東京都2店舗、神奈川県4店舗、千葉県5店舗、茨城県1店舗）とFC店舗への移行が1店舗、退店は1店舗となりましたので、8月末の直営店舗数は370店舗となりました。業態別では「日高屋」11店舗、「焼鳥日高」1店舗でした。新たな試みとして4月にとんかつ業態の「かつ元（もと）大宮中仙道通店」を開店しました。

販売面においては、季節メニューとして、夏季メニューの定番である「黒酢しょうゆ冷し麺」「和風つけ麺」、6月には「ごま味噌冷し」を投入しました。サービス水準向上に向けた取り組みとしては、階層別研修や社内資格の取得者増加に向けた研修を継続実施しました。気温が比較的高い日が多かったこともあり、季節メニューやアルコール類の販売が好調に推移し、既存店の3月～8月累計の売上高前年同期比は102.4%となりました。

生産・原価面につきましては、豚肉・野菜などの一部食材の購入価格の上昇がありましたが、行田工場においては生産効率の向上に努めたこともあり原価率は27.1%（前年同四半期は27.3%）となりました。また、行田工場が食品安全の国際標準規格であるISO22000の認証を5月に取得しました。今後も更なる品質保証体制の強化を目指してまいります。

販売費及び一般管理費につきましては、フレンド社員（パート・アルバイト社員の当社における呼称）の時給上昇により人件費が増加したものの、新店舗12店舗（前年同四半期は15店舗）による初期費用の支出減などもあり、対売上高比は59.8%（前年同四半期は60.0%）となりました。

この結果、当第2四半期累計期間における売上高は182億83百万円（前年同四半期比6.9%増）、営業利益は24億5百万円（前年同四半期比11.3%増）、経常利益は23億67百万円（前年同四半期比9.1%増）、四半期純利益は14億97百万円（前年同四半期比17.0%増）と増収増益となりました。

なお、飲食店チェーン関連事業の単一セグメントであるため、セグメント別の記載はしていません。

（2）財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期会計期間末の総資産は、237億63百万円となり前期末に比べて5億89百万円増加しました。これは主に現金及び預金の増加によるものです。

負債合計は57億28百万円となり前期末に比べて5億91百万円減少しました。これは主に流動負債その他（未払消費税等）の減少によるものです。

純資産合計は、180億35百万円となり前期末に比べ11億80百万円増加しましたので、自己資本比率は75.9%（前期末72.7%）となりました。

②キャッシュ・フローの状況

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果、得られた資金は17億87百万円（前年同四半期は28億62百万円）となり、前年同四半期に比べて10億74百万円の減少となりました。これは、法人税等の支払額などの増加、その他の流動負債に含まれる未払消費税の減少等によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果、使用した資金は8億19百万円（前年同四半期は11億9百万円）となりました。これは、新規出店や改装等に伴う有形固定資産の取得による支出5億32百万円（前年同四半期は4億98百万円）、敷金及び保証金の差入による支出1億81百万円（前年同四半期は1億72百万円）等によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果、支出した資金は4億10百万円（前年同四半期は4億45百万円）となりました。これは長期借入金の返済60百万円（前年同四半期は1億30百万円）、配当金の支払額2億99百万円（前年同四半期は2億50百万円）等によるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の店舗数については新規出店25店舗、退店2店舗を予定しており、社内FCへの移行は1店舗実施済みのため、平成28年2月末の店舗数は382店舗を見込んでおります。既存店の動向などを踏まえ、通期業績予想については、平成27年4月3日に開示した数値からの変更はありません。業績予想数値を達成した場合、営業利益、経常利益は13期連続で最高益の更新となります。

なお、当第2四半期末配当(中間配当)は、1株当たり18円を予定しており、正式には10月13日開催予定の取締役会で決議いたします。期末配当は、1株当たり18円を計画しております。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

(税金費用の計算)

税金費用については、当第2四半期会計期間を含む事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

(退職給付に関する会計基準等の適用)

「退職給付に関する会計基準」(企業会計基準第26号 平成24年5月17日。以下「退職給付会計基準」という。)及び「退職給付に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第25号 平成27年3月26日。以下「退職給付適用指針」という。)を、退職給付会計基準第35項本文及び退職給付適用指針第67項本文に掲げた定めについて第1四半期会計期間より適用し、退職給付債務及び勤務費用の計算方法を見直し、退職給付見込額の期間帰属方法を期間定額基準から給付算定式基準へ変更するとともに、割引率の決定方法についても、従業員の平均残存勤務期間に近似した年数に基づく割引率から、退職給付の支払見込期間及び支払見込期間ごとの金額を反映した単一の加重平均割引率を使用する方法へ変更しております。

なお、この変更による四半期財務諸表への影響はありません。

3. 四半期財務諸表

(1) 四半期貸借対照表

(単位:千円)

	前事業年度 (平成27年2月28日)	当第2四半期会計期間 (平成27年8月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,774,980	7,474,542
売上預け金	203,340	161,694
売掛金	23,494	27,280
店舗食材	150,129	149,254
原材料及び貯蔵品	28,334	29,930
その他	614,180	630,654
流動資産合計	7,794,459	8,473,356
固定資産		
有形固定資産		
建物	11,010,069	11,206,517
減価償却累計額	△4,652,692	△4,875,722
建物(純額)	6,357,376	6,330,795
構築物	110,863	111,542
減価償却累計額	△55,189	△59,847
構築物(純額)	55,673	51,695
機械及び装置	1,916,274	1,990,265
減価償却累計額	△856,840	△979,491
機械及び装置(純額)	1,059,433	1,010,773
車両運搬具	6,840	6,840
減価償却累計額	△5,925	△6,108
車両運搬具(純額)	914	731
工具、器具及び備品	1,629,781	1,694,337
減価償却累計額	△1,187,938	△1,275,692
工具、器具及び備品(純額)	441,842	418,644
土地	1,807,544	1,807,544
リース資産	390,602	165,397
減価償却累計額	△355,112	△156,403
リース資産(純額)	35,489	8,993
建設仮勘定	1,164	1,728
有形固定資産合計	9,759,440	9,630,906
無形固定資産	56,757	67,649
投資その他の資産		
投資有価証券	162,356	169,244
敷金及び保証金	4,244,534	4,316,073
その他	1,177,722	1,127,483
貸倒引当金	△21,089	△20,969
投資その他の資産合計	5,563,522	5,591,832
固定資産合計	15,379,720	15,290,388
資産合計	23,174,180	23,763,745

(単位:千円)

	前事業年度 (平成27年2月28日)	当第2四半期会計期間 (平成27年8月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	731,163	826,308
1年内返済予定の長期借入金	120,000	120,000
リース債務	39,800	14,594
未払法人税等	941,709	938,591
賞与引当金	322,453	348,011
転貸損失引当金	3,600	3,600
その他	2,397,023	1,763,245
流動負債合計	4,555,749	4,014,350
固定負債		
長期借入金	330,000	270,000
リース債務	3,711	—
退職給付引当金	504,455	496,792
転貸損失引当金	3,900	2,100
資産除去債務	579,703	601,039
その他	342,020	344,020
固定負債合計	1,763,790	1,713,951
負債合計	6,319,540	5,728,302
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,625,363	1,625,363
資本剰余金	1,701,680	1,701,681
利益剰余金	13,542,761	14,740,240
自己株式	△32,820	△55,068
株主資本合計	16,836,986	18,012,216
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	17,653	23,226
評価・換算差額等合計	17,653	23,226
純資産合計	16,854,639	18,035,443
負債純資産合計	23,174,180	23,763,745

(2) 四半期損益計算書
(第2四半期累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成26年3月1日 至平成26年8月31日)	当第2四半期累計期間 (自平成27年3月1日 至平成27年8月31日)
売上高	17,108,038	18,283,857
売上原価	4,677,207	4,950,102
売上総利益	12,430,831	13,333,755
販売費及び一般管理費	10,268,600	10,927,838
営業利益	2,162,231	2,405,916
営業外収益		
受取利息	513	1,492
受取配当金	8,309	6,530
受取賃貸料	338	525
保険解約返戻金	6,142	—
その他	7,157	10,740
営業外収益合計	22,461	19,287
営業外費用		
支払利息	3,342	1,588
固定資産除却損	6,381	53,365
リース解約損	304	—
その他	4,243	2,873
営業外費用合計	14,272	57,826
経常利益	2,170,420	2,367,377
特別損失		
リース解約損	601	—
減損損失	31,014	—
転貸損失引当金繰入額	11,800	—
特別損失合計	43,415	—
税引前四半期純利益	2,127,004	2,367,377
法人税等	846,668	869,648
四半期純利益	1,280,335	1,497,729

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成26年3月1日 至平成26年8月31日)	当第2四半期累計期間 (自平成27年3月1日 至平成27年8月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益	2,127,004	2,367,377
減価償却費	701,564	653,047
減損損失	31,014	—
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△120	△120
賞与引当金の増減額(△は減少)	30,116	25,557
退職給付引当金の増減額(△は減少)	2,865	△7,663
転貸損失引当金の増減額(△は減少)	9,300	△1,800
受取利息及び受取配当金	△8,822	△8,022
支払利息	3,342	1,588
固定資産除売却損益(△は益)	3,977	47,155
売上債権の増減額(△は増加)	△2,486	△3,786
たな卸資産の増減額(△は増加)	△1,238	△721
その他の流動資産の増減額(△は増加)	63,042	27,265
仕入債務の増減額(△は減少)	102,440	95,144
その他の流動負債の増減額(△は減少)	546,786	△593,356
その他	△75,190	4,543
小計	3,533,597	2,606,209
利息及び配当金の受取額	8,674	8,004
利息の支払額	△3,191	△1,521
法人税等の支払額	△676,670	△824,865
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,862,409	1,787,827
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△500,000	△1,200,000
定期預金の払戻による収入	—	1,100,000
有形固定資産の取得による支出	△498,334	△532,406
無形固定資産の取得による支出	△8,888	△22,062
敷金及び保証金の差入による支出	△172,123	△181,795
敷金及び保証金の回収による収入	73,260	18,039
その他	△3,728	△1,022
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,109,813	△819,247
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	△130,250	△60,000
リース債務の返済による支出	△57,178	△28,917
自己株式の取得による支出	△7,658	△22,248
配当金の支払額	△250,341	△299,500
財務活動によるキャッシュ・フロー	△445,428	△410,666
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	1,307,167	557,914
現金及び現金同等物の期首残高	3,990,578	5,473,321
現金及び現金同等物の四半期末残高	5,297,746	6,031,236

(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

4. 補足情報

①業態別売上高

(単位:千円)

業態区分	前第2四半期累計期間 (自平成26年3月1日 至平成26年8月31日)			当第2四半期累計期間 (自平成27年3月1日 至平成27年8月31日)			(参考) 平成27年2月期		
	店舗数	金額	構成比	店舗数	金額	構成比	店舗数	金額	構成比
日高屋	331	16,354,093	95.6	348	17,441,215	95.4	339	32,924,485	95.7
その他業態	22	722,912	4.2	22	801,365	4.4	21	1,427,695	4.1
その他	—	31,033	0.2	—	41,276	0.2	—	72,054	0.2
計	353	17,108,038	100.0	370	18,283,857	100.0	360	34,424,235	100.0

(注) 1. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

2. 各業態の店舗数は、当該期末時点の数値を記載しております。

3. 「日高屋」は、「中華そば日高屋」「中華食堂日高屋」「来来軒」を含めております。

4. 「その他業態」は、「焼鳥日高」等を含めております。

5. 「その他」は、FC向けの売上高等を含めております。

②地域別売上高

(単位:千円)

地域区分	前第2四半期累計期間 (自平成26年3月1日 至平成26年8月31日)			当第2四半期累計期間 (自平成27年3月1日 至平成27年8月31日)			(参考) 平成27年2月期		
	店舗数	金額	構成比	店舗数	金額	構成比	店舗数	金額	構成比
東京都	178	9,000,019	52.6	182	9,504,275	52.0	181	18,080,915	52.5
埼玉県	95	4,200,336	24.6	95	4,330,030	23.7	95	8,402,238	24.4
神奈川県	47	2,315,473	13.5	53	2,575,122	14.1	50	4,713,617	13.7
千葉県	32	1,547,267	9.0	37	1,751,986	9.6	32	3,109,291	9.0
栃木県	1	44,942	0.3	1	48,197	0.2	1	90,166	0.3
茨城県	—	—	—	2	74,244	0.4	1	28,006	0.1
計	353	17,108,038	100.0	370	18,283,857	100.0	360	34,424,235	100.0

(注) 1. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

2. 地域別売上高の店舗数は、当該期末時点の数値を記載しております。

③開設店舗及び閉鎖店舗

〔開設店舗〕

- | | | | | |
|-------------|---------------|------------|------------|-----------|
| 1. 取手東口店 | 2. センター南駅前店 | 3. 南柏西口店 | 4. 高幡不動駅前店 | 5. 南行徳北口店 |
| 6. 白楽店 | 7. 焼鳥日高 蘇我東口店 | 8. 十日市場南口店 | 9. 柏東口中央町店 | 10. 豊田北口店 |
| 11. 稲毛海岸南口店 | 12. 本厚木1番街店 | | | |

〔閉鎖店舗〕

1. 本厚木1番街店

(注) 店舗名のみは「日高屋」であります。本厚木1番街店は移転による再オープンであります。また、大久保北口店は5月にF C店舗へ移行しております。